

令和5年度射水市観光振興計画推進会議 議事録

- 1 開催日時：令和6年3月22日（金）14：00～15：30
 - 2 開催場所：クロスベイ新湊2階 iCN ホール
 - 3 出席者及び欠席者
 - (1) 推進委員
齋藤会長、牛塚副会長、明石委員、春日委員、久々委員、篠田委員、向田委員、寺井委員、大藤委員、田中委員
 - (2) 事務局
産業経済部長、産業経済部次長、観光・定住課長（欠席）、観光振興係員
 - (3) 欠席者
瀧田委員（代理出席）、釣谷委員（代理出席）、中野委員、紅粉委員、斉藤委員
山下オブザーバー
-

会議次第

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 議事
 - (1) 第2次射水市観光振興計画に掲げた施策の実施状況について
 - (2) 令和5年 数値目標達成状況について
 - (3) 令和6年度以降の主な取組について
- 4 閉会

■議事

- (委員) 資料 3P 食や特産品等の開発支援、PR について大変効果を感じている。
- 資料 4P 観光コンテンツづくりは、今後重要になってくると考えるが、来年度の観光庁の補助金を用いてインバウンドの支援強化を主に強化して欲しい。
- 観光船ナイトクルーズは3月から実証運行を開始しているが、実績をご教示願う。
- 資料 8P 外国人観光客へのおもてなしの充実においては、ツアー造成が重要な役割を果たすので、ツアー造成についても強化していただきたい。
- 資料 9P 二次交通については、外国人観光客は公共交通をよく使われるので、二次交通においても強化を図る必要がある。
- 資料 14P Youtube におけるプロモーションにおいても、二次交通をPRしていただきたい。
- R 6 の取組で県の事業の「祭りで富山を元気に！」では、射水市では新湊曳山や獅子舞が取り上げられているが、県内では他にどんな祭りがピックアップされているのかご教示願う。
- (事務局) ナイトクルーズについては、visit 富山で販売されており、現時点で3月、4月、5月それぞれ1件の予約がある。JR 西日本の旅行サイト tabiwa にも、無料で掲載いただける。
- ぶりカニバスについては、県と市が連携して運行に関して要望をしている。富山駅等からのアクセスについては今後の課題ととらえており、富山地铁に引き続き要望していく。
- 県事業については、観光庁からの補助金採択の内示を受け、魚津のたてもん祭り、八尾のおわら、新湊の曳山などが対象となると聞いている。
- 棧敷席の設置や曳子体験、棧敷席や提灯等への広告掲出に係る収入等によってまち自身が稼げる祭りになり、持続可能な祭りになればと考えている。
- (委員) 内川周辺では、近年、食に係るお店が多く出店しているが、食に特化したパンフレットがない。作ってみてはどうか。
- Youtube 広告に関しては、大変有効的であると考えている。Youtube に限らず、いろいろな媒体でPRしていくのが良いと考えている。
- (事務局) 観光協会が発行しているるるぶ等には、観光協会の会員の飲食店の情報が載っているので、既存の食に関するパンフレット等を活用していければと考えている。
- Youtube 広告については、大変効果的にPRできたと考えている。今後も市内の魅力のPRに注力していきたい。
- (委員) 観光協会では、ランチの店やグルメ&観光マップというパンフレットも発行しており、そちらも活用していきたいと考えている。
- 観光協会でも女子旅プレスを活用するなど、SNS の活用については引き続き行ってい

きたい。

(委員) SNS の活用は観光客の誘客において今後重要になってくると考える。幅広に PR することも大切であるが、よりコアなファンに届くように PR していくことも重要になってくる。

補助金のメニューについては、種類が豊富だが周知が足りていない。

(事務局) 補助金については実績が少なく、商工会議所の会報に掲載を依頼するなど周知の働きかけを行っているところである。

インバウンドの補助金については、インバウンドがより多くなってきた時に、利用いただける事業者も増えてくると考えている。補助金の周知と同時に、インバウンド誘客等補助金が必要になる環境を整備していくよう注力していく。

(委員) 射水市の各エリアを楽しんでいただけるようモデルコースの造成、内川に特化したページやパンフレットを HP 上で公開してもらえれば、こちらも県外に行く際に PR しやすい。

(事務局) ここを見れば、射水市が、内川が分かるというページがないということは課題と捉えている。射水市の魅力的な観光地を特化して紹介するページやサイトがあれば、より効果的に PR できる。本課題については、今後解決に向けて取り組んでいく。